**ハンドマイク街頭演説原稿例　大軍拡ＮＯ・敵基地攻撃能力反対**

　　　　　　二〇二三年三月四日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、岸田政権は今後５年間の軍事費を総額４３兆円に増やそうとしています。実現すれば、アメリカ、中国に次ぐ、世界第３位というすさまじい規模です。岸田首相は「他国に脅威を与える軍事大国」にはならいと繰り返しますが、どう見ても「他国に脅威を与える軍事大国」に他なりません。まったくのごまかしです。大軍拡のために増税ばかりか年金や医療のための積立金を流用する。国民の生活と国家財政を破壊する岸田自公政権の大軍拡に断固反対します。

みなさん、ロシアによるウクライナ侵略をうけ、北朝鮮のミサイル発射や中国の軍事強化に不安を持つ人もいるかもしれません。政府も「備えあれば憂いなし」とさかんに言っています。しかし、いま進められている日本の大軍拡は、他国からの武力攻撃に備えるものでは決してありません。実際、来年度購入する４００発の「トマホーク」ミサイルは射程距離何と１６００ｋｍです。他国からの攻撃に備えるためだけなら、相手国の奥深くまで届くミサイルはまったく必要ありません。敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有は、自衛の範囲を超える明らかな憲法違反であり、絶対に許されません。

みなさんそれでは、本当の目的はどこにあるのでしょうか。それは、先制攻撃を含む、アメリカの世界的なミサイル戦略に自衛隊が参加できるようにするためです。このまま大軍拡の道を突き進めば、日本が攻撃されていなくても、米国の違法な戦争に巻き込まれる。相手国からの報復攻撃で国内で大規模な被害が生じうる。これが現実のものとなるのです。

これは私たちも決して無関係ではありません。県内の航空自衛隊入間基地では、敵の報復攻撃に耐えられるよう、基地の強じん化と地下化が進められます。朝霞駐屯地、大宮駐屯地、熊谷基地も「強じん化」の対象基地です。入間基地では、さらに住宅近くの敷地に危険な火薬庫を新設し、Ｃ２大型輸送機への長射程ミサイルの搭載も計画されてます。報復攻撃があれば、まさに埼玉も火の海になりうるのです。こんな背筋が凍る事態を何としても阻止するため、日本共産党は全力をつくします。

みなさん、それでは軍事力に頼らず、どうやって戦争の心配のないアジアをつくるのか。日本共産党は大軍拡をただちにストップし、ＡＳＥＡＮ（東南アジア諸国連合）の対話による平和の枠食いづくりを中国やロシアなどを包み込んだものに発展させます。その枠組みを生かしながら、対話による平和外交で東アジア地域の平和と安定を実現します。岸田政権の大軍拡をストップするため、戦前戦後、反戦平和を貫いてきた日本共産党を大きくしてください。ご支援をよろしくお願いします。

　最後に、大軍拡の危険な動きを伝える「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）